

<多治見空手道教室だより>

H30. 10. 20

前回秋季昇級試験のお便りを出したのが9/7で、その時はまだマスターズ2018札幌大会の中止は、決まっていま

せんでしたが、次の日に全ての競技の中止が決まり、直ぐに飛行機とホテルのキャンセルをしました。

ホテルは全額返って来ましたが、飛行機はキャンセルはできましたが、お金は返って来ませんでした。

お金のことは諦められますが、14年連続出場が果たせなかった事が悔しいですが、地震の被災者の事を考えれば

そんなことも言っていられませんね。

今日のお便りは全空連級位審査と台風24号で延期になった、県選手権&中学選抜大会の結果についてお知らせ

させていただきます。

記

1. 全空連級位審査 10/13(土) 北丘東集会所

全空連の級位試験を春に行っていますが、全空連の会員になっている人には、秋もやって欲しいと言う他の道場からの依頼もあり、今年から吉田先生が日体協空手道指導員資格も取れて審査員登録が出来るので、青島と一緒に審査を行いました。

受審者は拳和会6名、空手アカデミー10名、拳聖館2名で、形は2名ずつ、組手は1試合の審査で、1~2級の受審者は指定形で、3級以下は平安やゲキサイなどの基本形で行いましたが、教室の6名は全員がバッサイを打ったので形は文句なしでした。

他の道場は指定形を打った人は大方良かったですが、基本形の選手は少し下半身の安定感は弱い感じがしました。

組手になったら他の道場の受験者は、鋭い踏み込みと正確な突きで、直ぐに有効技が出て、審判の私が「ヤメッ!」を掛ける回数が多いので◎や○が殆どでしたが、教室の子供達は踏み込みが弱いのと、手数が多いのに正確な突きが少なく、やっと○を付ける程度なのは何時もの通りですので、根本的に直したい思いました。

しかしこの審査は飛び級も無い代わりに普通に出来れば合格する試験なので、18名全員が合格しました。



健琉

結衣

心琴

康佑

創堅

利紅

2. 岐阜県空手道選手権&中学選抜大会 10/14(日) 郡上市総合スポーツセンター

昨年の選手権大会&中学選抜大会はメモリアルが取れなくて、池田町の総合体育館でやりましたが、今年も何処の体育館も空いていなくて、やっと岐阜市西部体育館を9/30に予約出来て、駐車場が少ないので民間駐車場を借りて、駐車券まで作ってそれぞれの道場毎に振り分けて郵送して準備していたのに、台風で中止になり、全日本選手権の登録が10月中旬に迫っていたので、岐阜県中の体育館を探して貰い10/14に郡上市の会場が全館空いているのを見つけて貰いました。

こちらも駐車場が少ないけれど市役所の職員用の駐車場を貸して貰えたので、何とか大会に漕ぎ着けることが出来ました。急な日程変更で選手や審判が10名ほど参加できなくなり審判は吉田先生など新規で4名お願いしました。

また、運営部員も数名来られなくなりましたが教室からカバーして頂き、青島、江崎、杉森、柴田、灰塚夫婦、木俣、鼓、浅井、高倉の11名と監督で服部先生が参加して頂いたので、大会を乗り切る事が出来ました。

今年は選手権大会には教室からは参加しませんでした。中学選抜には睦、遙音、心春、晏奈の4名が参加して、中学1年女子形の晏奈は1回戦はバッサイで4-1で勝ったものの2回戦のニーパイポで2-3で負けてしまい、心春は1回戦はバッサイで4-1勝利、2回戦はニーパイポで3-2勝利、準決勝はチャタンで2-3の惜敗、3位決定戦もチャタンで3-2勝利で全国当確でした。

中学2年女子形の睦は1回戦はバッサイで5-0勝利、準決勝はニーパイポで5-0勝利、決勝ではチャタンで2-3で惜敗でしたが準優勝で全国当確でした。

中学1年男子形の遙音は1回戦のセイエンテンは力強い形でしたが、一瞬微妙にブレて3-2の冷や汗の勝利で、2回戦のニーパイポでは4-1勝利、準決勝のアーナンは抜群の切れで5-0勝利で決勝に進み、全国当確で次の3ブロック4ブロックの準決勝の勝者を待っていましたが、その試合で珍事が起こりました。

実施要項では3回戦が第2指定形と決まっております、参加選手の多い中学1年男子の準決勝は得意形と決まっているのに、2人共3回戦と同じ第2指定形を打ったため、審判の永い協議の結果2人とも失格になってしまい、遙音が優勝、2位がいなくて遙音に負けた選手は3位に決まりました。

一昨年と鼓、昨年は睦の姉妹は教室で1人だけ参加しての全国出場でしたが、今年は3人も全国大会への出場が決まり、大変嬉しい結果でした。おめでとうございます!

大会が終わってからの気づきは、今回3-2や2-3での勝敗の別れがとて多かったです。形の審判は基本減点方式なので、一瞬のブレも勝敗に大きく関わって来ますし、どんな形でも流派の基本が大切なことと、指定形はマニュアル通りに力まずに、スピードと決めが大切です。息吹や胴衣を叩く事なども減点です。

指導者は普段の練習から上記のことを意識して、勝てる形を打つ様に指導して下さい。



遙音のアーナン

また、組手については毎回言っていますが、形の場合前屈立ちや基立ちの後ろ足は曲げないし、踵も上げませんが、組手では後ろ足は真っ直ぐ前に向け膝を曲げて踵を上げた構えで、後ろ足で床を強く蹴って膝を伸ばした勢いで、前足と身体を大きく前に出し、その瞬間に突きを出し、直ぐに後ろ足を引いて元の構えになることで、相手との間合いを一瞬で詰めて、鋭い突きが出来ますし、相手が下がっても直ぐに続けて攻撃が出来るので、他の事はともかくこの構えだけは、指導者の責任で練習の始めに10分程度反復練習を取り入れて下さい。



1回戦：晏奈ハッサイ 心春ハッサイ 睦ハッサイ 遥音セイエンチン



2回戦：晏奈 心春 遥音 睦 準決勝



心春 準決勝 心春 3決 睦 決勝



教室の選手と青島

発行責任者 青島 忍 携帯090-2344-5933 Eメール aoshimas@bronze.ocn.ne.jp